

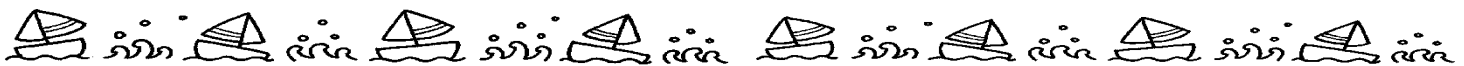
# ほし・はなぐみたより

2024・08・01

照りつける太陽と青々とした葉っぱが、本格的な夏の訪れを感じさせます。大人でも耐え難い暑さですが、子どもたちは毎日元気いっぱいです。

先月からプール活動がはじまり、水しぶきをあげて楽しんでます。

今月は、外遊びの時間を調整したり休息や水分補給に十分配慮しながら保育をすすめ、健康に夏を乗り切れるようにしていきます。体調面で少しでもきになることがあればお知らせください。



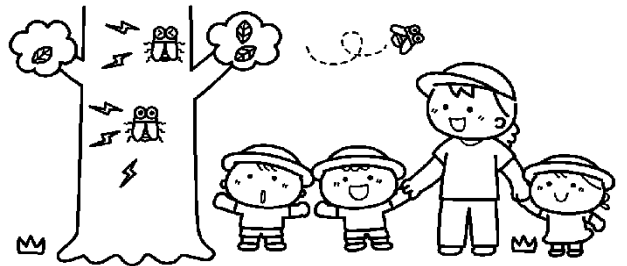
## 8月生まれのおともだち

みやもと えれな さん  
8月15日生まれ 2歳

### ★移行のおともだち★

はらだ えまさん にじぐみへ  
ますだ たくとくん うみぐみへ

これからも成長を見守っていきます。



## おねがい

- \*ティッシュペーパーを1箱持ってきてください。
- \*ビニール袋を1袋（再利用で大丈夫です。）を持ってきてください。  
汚れた衣服などをいれたりします。
- \*持ち物には全て名前を記入するようにお願いします。  
新しい洋服や名前が消えかかっている物がありますのでご確認ください。



## “自分でできるように手伝ってください”

2024.08.01

7月からプール活動が始まり、もうすぐ1ヶ月が経とうとしています。  
毎日、自分でできることが増えていく子ども達を見て感動する日々を過ごしています。  
ほんの少しですが、紹介させてください。

### 《2歳6ヶ月の女の子のエピソード》

プールバックの中から新品のビニール袋を取り出し、自分で広げることができず、保育士に援助を求めます。指でつまむところと引っ張ることを伝えてやってみるように促すと自分で広げることができて笑顔で「できた!」と言います。次の日も新品のビニール袋を保育士に渡して「手伝って」と言います。そばで見ている自分でできそうなところで「自分でする」と言い、広げます。毎日繰り返すことで今では最初から自分で広げようとしています。



### 《2歳3ヶ月の女の子のエピソード》

おやつを食べ終わるとプールバックを持って排泄のベンチへ行きます。脱いだ服をビニール袋に入れるように伝えるとプールバックの中から繰り返し使ってあるふんわりと畳まれたビニール袋を自分で広げ、脱いだ服を入れることができます。

### 《1歳10ヶ月の男の子のエピソード》

他児がプールに入る準備をしている姿を見てプールバックを取りに行き排泄のベンチへ行きます。自分でTシャツが脱げないので、保育士のそばに行き、脱がしてほしいと行動で伝えます。脱ぎやすいように袖の部分引っ張ると一人で脱げます。洋服を全部脱ぐと周りにいる他児の様子を見てプールバックから袋を出して自分で広げて入れようとしています。マチのない袋だったので、広げることはできましたが、うまく洋服をいれることができず、保育士に袋と洋服を渡します。保育士が袋を広げて持っている洋服を入れることができました。毎日繰り返すことで力のコントロールができるようになり、1枚ずつ入れるなど自分なりに工夫をして袋を持ちながら洋服を入れることができるようになりました。



このさまざまな様子を見て・・・

子どもたちはいつも“自分でできるように手伝ってください”と大人に伝えています。

子どもだから…まだできないから…ではなく、やり方を知らないだけなのです。きっと…これから色々なものに出会っていきます。そこで子どもが自分でできるように手伝ってほしいのです。初めてのものは名称を伝え、使い方を見せましょう。そして、どの大きさ、どんな方法がやりやすいのかを考えてほしいのです。ほんの少しの工夫で子どもは自分でできるようになります。そして、“できた!”が増えていくと自信をもてるようになります。これからも保護者の方と一緒に子ども達の“できた!”を増やしたり、見守っていただけたいな…と思います。

